

福岡共同 公文書館だより

Fukuoka Communal Archives

vol.02

平成25年9月
September 2013



8月21日 筑紫野市立二日市小学校家庭教育学級「つどい」施設見学にて
(詳細は5ページへ)

TOPICS / 第2回企画展
公文書でひもとく福岡県の石炭産業～山本作兵衛作品とともに～ 開催中!..... 2～3ページ

- 歴史公文書の保存等について..... 4ページ
- 公文書館を見学しませんか? / 知っていますか? 福岡共同公文書館 Q&A..... 5ページ
- 活動報告～開館からこれまで～..... 6～7ページ

第2回企画展

公文書でひもとく福岡県の石炭産業
山本作兵衛作品とともに 開催中！

▲第2回企画展

企画展の目的

当館では、7月2日から9月29日まで「公文書でひもとく福岡県の石炭産業」山本作兵衛作品とともに」と題した企画展を展示室で開催しています。

かつて国内有数の産炭地を有していた福岡県の石炭産業について、石炭発見の伝承から石油資源へと推移していった時代背景を、当館所蔵の公文書や歴史資料、

また、日本初のユネスコ世界記憶遺産登録で有名な山本作兵衛氏の絵画（複製画・未登録原画）も同時公開することで、石炭採掘の状況をより実感していただけることとしています。

他にも、企画展と関連した講演会や講座を開催しました。

現在も企画展は開催中ですが、寄せられたアンケートでは「石炭の歴史が分かり易く展示してある」「福岡県の歴史をもっと知りたくなった」等の声を頂いております。

昨年開館したばかりの当館ですが、今回の企画展を一つの契機として、公文書館からひもとかれる福岡県の歴史及び当館の所蔵資料に関心を持っていただき、多くの意見をお寄せいただければ幸いです。

山本作兵衛作品に触れて

当館では、日本初のユネスコ世

▲「寝掘り」
©Yamamoto Family

▲山本作兵衛氏 撮影：橋本正勝氏

界記憶遺産登録として有名な山本作兵衛氏が描いた絵画（複製画・未登録原画）を展示しています。複製画は田川市、未登録原画は公立大学法人福岡県立大学附属研究所からそれぞれご協力を得た上で借用し、展示しています。約半世紀にわたって炭坑で働いていた作兵衛氏が描いた絵画からは、炭坑現場の情景や時代の流れが伝わってきます。作兵衛氏は、子や孫の世代のために炭坑の歴史を描いたと言われていますが、その数はユネス

コ世界記憶遺産登録及び未登録を含め2000枚近くあるとされています。

現在、福岡県内で石炭は採掘されていません。しかし、私たちも石炭産業の時代背景を振り返り、後世へ語り継ぐべき貴重な歴史の「ページ」として特定歴史公文書や行政資料を展示し、広く県民の方々に触れていただくことを目的で展示しました。

炭鉱史を振り返る

展示室の一角では、他館所蔵の炭鉱資料を月替わりで展示しています。地図や写真、採炭道具、石炭など、バラエティに富んだ資料の紹介を通じて、既に歴史の「ページ」になりつつある石



炭産業を、より身近に感じたいという目的です。

7月・8月は、九州大学記録資料館産業経済史部門が所蔵している、筑豊炭田地質図、貝島太助宛團琢磨書簡、炭鉱札、三池鉱業所と労働組合が発行した新聞、採炭道具（ツルハシ、カンテラ、キャップランプ付保安帽など）、石炭を展示しました。実際に使われていた物の展示は迫力があり、来館者の方にも興味を持っていただけたようです。

9月は、宮若市石炭記念館が所蔵している貝島家資料の中から、貝島家を訪れた有名人たちの姿を収めた写真帳や、珍しい戦前の炭鉱紹介パンフレット、貝島炭鉱が設立した小学校設立に係る文書、そして明治三大家憲の一つともいわれる貝島家憲を展示しています。



(上) 特別展示スペース(8月展示) / (下) 機関車

展示資料からひもとく

●「筑豊興業鉄道株式会社線路新設事蹟」
飯塚町 明治25年度



▲筑豊興業鉄道株式会社線路新設事蹟
＜明治25年度＞
飯塚町（現飯塚市）より移管

筑豊地方の石炭鉱業は、明治10年代までの零細な中小坑区における採炭から、明治20年代に入って選定坑区制による大坑区の時代となりました。近代化が推進されるなかで、採炭量の増大とともに従来の遠賀河の水運輸送も限界を見せ、その輸送問題が最大の阻害要因の一つとなっていました。こうした中で、筑豊地方でも石炭輸送のための鉄道建設の動きがおこり、明治22年8月筑豊興業鉄道株式会社が発足しました。

には直方小竹間、26年2月直方金田間、同年7月小竹飯塚間、27年12月小竹幸袋間、28年4月飯塚・白井間と次々と路線を伸長させました。鉄道伸長に伴う地元との関わりが分かる資料です。

●「福岡県石炭税創設促進協議会書類」
大牟田市 昭和26年度



▲福岡県石炭税創設促進協議会書類
＜昭和26年度＞（大牟田市より移管）

日本最大の産炭地を有する福岡県では、昭和22年、関係する市町村が健全財政確立のために福岡県知事を会長とし石炭税創設の実現運動を展開しました。昭和25年の地方税法制定により、鉱物の価格を課税標準とし、鉱物採取の作業場が所在する市町村に、鉱業者へ課される鉱産税として法定化され、産炭地の貴重な財源となりました。戦後復興を目指す地域からの活動が分かる資料です。

講演会や講座を開催しました

企画展期間中に企画展と関連した、講演会と講座を開催しました。講演会は、ユネスコ世界記憶遺産登録推進活動に御尽力された田川市石炭・歴史博物館館長 安蘇龍生氏をお招きして「産炭地筑豊く近代化の諸相」と題し、産炭地を有していた筑豊地域や福岡県内の炭鉱史、他にも「川筋（かわすじ）（気質（かたぎ））」「友子（ともこ）（※注）」という炭鉱現場での技術者についてもお話いただきました。

講座は、「石炭が織成す歴史く福岡県の近代」と題し、九州歴史資料館で近代史を担当されている、同館の主任技師（学芸員）渡部 邦昭氏をお招きして福岡県における石炭産業を中心とした近代史についてお話いただきました。

企画展では、用語の難しいものもありますが、福岡県の炭鉱の歴史を知ることができると有意義なものとなり、参加された方にとって石炭産業に興味を持っていたかきかけとなればと思います。

展示室よりお知らせ

常設展 「公文書にみる福岡140年のあゆみ～福岡県の誕生と市町村合併～」

福岡県の成立から戦後に至るまでのあゆみと市町村合併（現嘉麻市、うきは市、みやこ町、筑前町）の歴史について、ご紹介します。

10月8日（火）～12月22日（日）

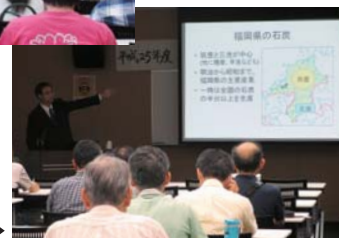
◆ 第3回企画展「福岡県の交通（仮）」

福岡県における近代交通システムの形成と発達について、残された公文書を手がかりにひもときます。
平成26年1月7日（火）～3月23日（日）（予定）

（※注）友子：戦前にあつた炭鉱特有の制度。互助制度と後輩への技術伝達を目的とする。炭鉱の組織化に役立ったが、戦後、労働組合の誕生により友子制度は消滅。



▲講演会



▶講座

歴史公文書の保存等について

福岡共同公文書館(以下「公文書館」という。)は、歴史資料として重要な公文書(歴史公文書)を未来に渡り適切に保存し、一般の利用に供するために設置されました。主な業務の柱は、次の3つが位置づけられています。まず、歴史公文書を適切に保存することです。次に、保存した歴史公文書を閲覧に供することです。3つ目は、保存した歴史公文書に関連する調査研究を行うことです。ここでは、県や県内市町村で作成された公文書が、公文書館に搬入されてから文書保存庫において保存されるまでについて、触れることとします。

1 歴史公文書の搬入

県や市町村において歴史公文書とされた公文書は、直接公文書館に運び込まれるか、公文書館が手配した業者のトラックで搬入されます。平成24年度に公文書館が受け取った歴史公文書のファイル数は、概ね31,500冊でした。搬入された歴史公文書は、公文書館で様々な整理過程を経て保存されることとなります。



2 評価選別

評価選別とは、移管元である県や市町村において、明治期以降に作成された公文書のうち保存期間を経過したもの(非現用文書)を対象に、歴史資料として重要な公文書であるかどうかを判断する作業です。

移管元自治体の公文書は、移管元で評価選別(1次選別)した後に公文書館に搬入されますが、自治体間の均衡を失することなく選別することで体系的かつ一元的に歴史公文書を保存することができるよう、公文書館においても評価選別(2次選別)を実施しています。

4 燻蒸

公文書館では、新たに文書保存庫に保存することとなった文書は、配架する前に、燻蒸します。文書の害となる虫やその卵、そしてカビ菌が文書保存庫内で繁殖することがないようにするものです。

3 データ入力

公文書館で保存することとなった歴史公文書は、ファイル名等をパソコンで管理するため、必要なデータを入力していきます。入力には、閲覧希望者が検索しやすいように、キーワードや文書の概要を入力するよう、工夫を凝らしています。



5 保存

公文書館の文書保存庫は、特定歴史公文書を永久に保存するための最適な環境を有しています。それは、温度は夏場は25度、冬場は22度に、湿度は年間を通じて55%に設定されていることです。また、全ての歴史公文書の保存は、中性紙の保存箱に入れて配架することで、文書の酸化を可能な限り防ぐようにしています。



公文書館を見学しませんか？

当 館の存在は知っているけれど、どのような所なのか分からないという声を聞きます。そこで、当館では身近に感じていただきたく、施設見学の受入れを実施しています。

その中で今回は、今年8月21日(水)に開催した、筑紫野市立二日市小学校家庭教育学級「つどい」の施設見学の模様をご紹介します。

家庭教育学級ということで、当日は保護者、お子さん合わせて、総勢59名の参加でした。当館の紹介をしたDVD鑑賞後、実際に作業室を見学し、普段見ることができないものばかりでとても新鮮であったことでしょう。学習の場ということで、見学後は「公文書館を紹介す

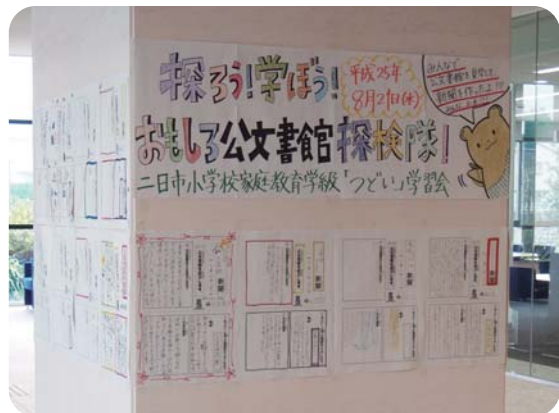
る」というテーマで、保護者と共同で新聞を作成しました。保護者の方からは「公文書館が建ったことは知っていたけれど、どういう所なのか知らなかった。今後も来館したい。」、お子さんからも「面白かった。また友達と来たい。」という声を聞くことができました。これをきっかけとして、もっと地域の方々に当館の存在が広がればと願っています。

今回、「つどい」学級のみなさんが作成した新聞は、当館1階エントランスホールにて掲示しています。公文書館の内容自体は難しかったことでしょうか、一生懸命取り組んだお子さん達から見た公文書館がどんなものか、ぜひ、御覧ください。

掲示期間

平成25年8月22日(木)～
12月27日(金)

公文書館を見学しませんか？
普段見ることができない
作業部屋などを見学できます。



▲ 当館1階エントランスホール内に掲示

知っていますか？

福岡共同公文書館 Q&A

福岡共同公文書館に数多く寄せられるお問い合わせの中から、回答を皆様にご紹介します。公文書館をご利用の際にぜひ参考にしてください。

Q 公文書館は誰でも利用できますか？

A どなたでもご利用できます。

ただし、公文書館は、図書館と違い1点しかない原資料が多く、そのために特別の場合を除き資料の館外貸出しは行っていない。閲覧室への私物の持ち込みも制限しています。なお、団体や個人での見学も可能です。ご希望の方は当館までお問い合わせください。

活 動 報 告 ～開館からこれまで～

2012年に開館してから現在までの活動の歩みをご報告します。

平成24年

- 4月26日 歴史公文書の受入 開始
- 10月19日 第1回 福岡県特定歴史公文書利用審査会
- 第1回 福岡県自治振興組合特定歴史公文書利用審査会
- 10月26日 第1回 市町村文書担当課長会議(会議69名・見学会48名) ●
- 10月30日 第1回 福岡共同公文書館運営専門協議会
- 11月12日 第2回 福岡県特定歴史公文書利用審査会
- 第2回 福岡県自治振興組合特定歴史公文書利用審査会
- 11月17日 開館記念講演会「公文書管理と公文書館の役割について」 ●
- 11月18日 開館
- 第1回企画展「公文書にみる福岡140年のあゆみ
～福岡県の誕生と市町村合併」開催(～平成25年6月24日)
- 11月22日 施設見学【福岡女子短期大学 文化コミュニケーション学科(38名)】
- 11月24日 施設見学【鹿児島県学事法制課(1名)】
- 12月 1日 施設見学【福岡市総合図書館(1名)】
- 12月13日 施設見学【NTTデータカスタマーサービス(1名)】
- 12月15日 施設見学【福岡県立図書館(2名)】
- 12月19日 施設見学【北九州市立文書館(1名)】
- 12月20日 施設見学【外務省外交史料館(1名)】
- 12月21日 施設見学【志免町総務課(2名)】
- 12月22日 施設見学【福岡地方史研究会(13名)】



▲第1回市町村文書担当課長会議



▲開館記念式典

平成25年

- 1月16日 施設見学【筑紫野市政治学級(20名)】
- 1月22日 施設見学【福岡県中部都市議会議長会事務局長会(13名)】
- 1月23日 施設見学【京都府議会文教常任委員会(12名)】
- 施設見学【豊前市区長役員会(24名)】
- 1月26日 施設見学【大学図書館問題研究会福岡支部(15名)】
- 1月27日 施設見学【太宰府市情報・公文書館推進課(4名)】
- 施設見学【福岡県立図書館郷土資料課(2名)】
- 2月13日 公文書館講座(17名参加) ●
- 2月16日 施設見学【筑紫野市産廃連(8名)】
- 2月20日 公文書にみる歴史講座(38名参加) ●
- 2月21日 施設見学【内閣府(2名)】
- 2月22日 施設見学【福岡県自治体問題研究所(13名)】
- 2月26日 市町村文書事務担当課長会議・講演会
「利用請求にかかる審査基準について」(56名参加)
- 3月 2日 和綴じ講座(9名参加) ●
- 3月10日 施設見学【福岡県立図書館(2名)】
- 3月18日 第2回 福岡共同公文書館運営専門協議会
- 3月22日 施設見学
【福岡県学校図書館協議会 福岡地区高校司書部会(40名)】
- 3月27日 施設見学【筑前町総務課(5名)】



▲公文書館講座



▲歴史講座



▲和綴じ講座

平成25年	
3月30日	施設見学【熊本県立大学総合管理部(1名)】
4月 5日	施設見学【那珂川町環境課(1名)】
4月20日	施設見学【小石原焼伝統産業会館(1名)】
	施設見学【大分県中津市総務部総務課法制係(1名)】
4月26日	福岡共同公文書館運営会議 ●
5月 2日	施設見学【福岡市総合図書館(3名)】
5月16日	施設見学【筑紫地区教育委員会教育部長会(6名)】
5月28日	施設見学【筑紫野市教育委員会(9名)】
6月 4日	施設見学【九州大学(17名)】
6月 7日	施設見学【筑紫野市立二日市小学校家庭教育学級「つどい」役員(5名)】
	施設見学【福岡県立大学(5名)】
6月10日	全国公文書館館長会議意見交換会・施設見学会(80名) ●●
6月12日	施設見学【鳥取県公文書館長(1名)】
6月27日	福岡共同公文書館運営専門協議会 ●
7月 2日	第2回企画展「公文書でひもとく福岡県の石炭産業 ～山本作兵衛作品とともに～」開催(～9月29日)
7月 4日	ケーブルステーション福岡 取材・出演
7月 5日	西日本新聞朝刊に第2回企画展紹介記事掲載
7月 9日	施設見学【太宰府市公文書館構想調査研究委員会(15名)】
7月12日	施設見学【筑紫野市議会議員後援会(30名)】
7月18日	RKB毎日放送「今日感テレビ」伝言板コーナーに出演 ● (第2回企画展、講演会講座広報活動)
7月23日	施設見学【筑紫野市議会議長・副議長(4名)】
7月31日	施設見学【宮城県議会総務企画委員会(8名)】

※施設見学については開館後に実施したものを記載しています。

選別会議実施状況

選別会議・・・自治体より1次選別を経て搬入された公文書を評価
選別基準により2次選別を行います。
2次選別により、当館へ移管しないこととした文書に
ついては、移管元自治体に返却するか廃棄します。

平成24年度	筑紫野市	須恵町	広川町	築上町
	那珂川町	豊前市	小郡市	八女市
	上毛町	糸島市	大木町	大川市
	志免町	苅田町	大野城市	宮若市
	水巻町	岡垣町	嘉麻市	中間市
	直方市	太宰府市	小竹町	田川市
	遠賀町	添田町	赤村	筑後市
	行橋市	筑前町	宗像市	春日市
	久山町	みやこ町	福津市	粕屋町
	鞍手町	飯塚市	東峰村	川崎町
	古賀市	うきは市		
平成25年度	直方市	飯塚市	大牟田市	川崎町
	東峰村	大刀洗町	新宮町	

平成25年7月末現在



▲運営会議



▲意見交換会



▲施設見学会



▲運営専門協議会



▲今日感テレビ伝言板コーナー

施設案内

施設使用料金

施設の使用ができます

	収容人員	面積	金額(1時間につき)
会議室	16名	58㎡	380円
研修室	90名	171㎡	1,130円

※プロジェクターや音響装置等を使用する場合は、別途使用料が必要となります。

複写サービス

複写もできます

白黒	1枚 10円(A3判まで)
カラー	1枚 30円(A3判まで)
マイクロフィルムからの印刷	1枚 10円(A3判まで)

※ただし、特定歴史公文書については、福岡県立公文書館条例及び福岡県市町村公文書館条例により、個人情報などが記載された箇所は複写できません。

利用上の注意点

閲覧室に入室の際は、貴重品以外の物はロッカーにお入れください。
(使用後は100円返金されます。)

このような時は
ご相談ください

- お住まいの地域で行政に関わった歴史を知りたい。
- 調べたい内容の資料が当館へ移管されたか知りたい。
- 展示物や閲覧室にある資料を撮影したい場合。

その他、ご質問等があれば、お気軽にお寄せください。



会議室



研修室



閲覧室



展示室(第1回企画展)

編集後記

現在、第2回企画展を開催中です。来館者に感想をお伺いしたところ、「公文書館に入っているのかわからなかった。来館すると印象が変わった。」という方がいらっしゃいました。

そこで、今回は「県民の方に当館を知っていただきたい」というテーマで内容を組みました。公文書館と聞くと、堅苦しいイメージを持たれやすいですが、展示室で公文書を展示し、閲覧室では福岡県内の地方公共団体が発行する広報誌や行政刊行物を見ることができ、生活に役立つ情報を得るこ

とができます。もちろん、学生の研究に役立つ情報もあります。

今回は、関係者の快諾を得た上で、筑紫野市立二日市小学校家庭教育学級「つどい」のお子さん達の写真を表紙として取り上げさせていただき、来館は年齢層関係なく、どなたでもお越しになることができるということアピールしています。

私は筑前町から派遣された職員ですが、広報担当者としてどのようにすれば当館の存在が広まるか、今後も模索していきたいと思います。筑紫野市へお立ち寄りの際は、ぜひ公文書館へ！(杉谷)



交通アクセス

- JR二日市駅より徒歩13分または西鉄バス警察署前より徒歩1分
- 西鉄二日市駅下車、西鉄バス警察署前バス停より徒歩1分
- 九州自動車道「筑紫野インター」より車で約5分

福岡共同公文書館

〒818-0041 福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号

お問い合わせ:092-919-6166

Mail:kobunsyokan@pref.fukuoka.lg.jp

ホームページ: <http://kobunsyokan.pref.fukuoka.lg.jp/>



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。

